

2 あいち森と緑づくり事業アンケート結果<県民アンケート>

■調査のあらまし

1 調査の概要

(1) 調査の目的

あいち森と緑づくり税・事業の事業評価のために、県内全域の一般県民に税・事業に対する認知度・理解度等を把握し、調査分析を行い、今後の税・事業の在り方について検討するための基礎資料とする。

(2) 調査の項目

- ① 森と緑の働きについて
- ② 「あいち森と緑づくり税」について
- ③ 人工林整備事業について
- ④ 里山林整備事業について
- ⑤ 都市緑化推進事業について
- ⑥ 環境活動・学習事業について
- ⑦ 木の香る学校づくり推進事業について
- ⑧ 「あいち森と緑づくり事業」の今後について

(3) 調査の設計

- ① 愛知県
- ② 調査対象 県内居住の20歳以上の男女
- ③ 標本数 3,000人
- ④ 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- ⑤ 調査方法 郵送法
- ⑥ 調査期間 平成24年8月24日～9月10日

(4) 調査委託先

株式会社 ライフライン

(5) 回収結果

- ① 標本数 3,000人
- ② 回収数 1,506人 (50.2%)

2 調査対象者の属性

【性別】

総数	男性	女性	無回答
1,506人	692人	780人	34人
100.0%	45.9%	51.8%	2.3%

【年齢】

20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	無回答
108人	195人	256人	288人	212人	411人	36人
7.2%	12.9%	17.0%	19.1%	14.1%	27.3%	2.4%

【居住地域】

名古屋地域	尾張地域	西三河地域	東三河地域	無回答
403人	594人	311人	161人	37人
26.8%	39.4%	20.7%	10.7%	2.4%

【職業】

自営業	農林漁業	26人	1.7%
	商工サービス業	77人	5.1%
	自由業	79人	5.2%
勤め人	管理職	91人	6.0%
	専門技術職	202人	13.4%
	事務職	170人	11.3%
	労務職	212人	14.1%
無職	家事専業	345人	22.9%
	学生	19人	1.3%
	その他	242人	16.1%
無回答		43人	2.9%

1

2

3 サンプルデザイン

調査地区区分図



(1) 母集団 愛知県内に居住する20歳以上の男女

(2) 標本数 3,000

(3) 地点数 150

(4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

ア 層化

愛知県内の市町村を、市（名古屋市は区）及び郡を単位として、16の調査地区にグループ化した（調査地区区分図のとおり）。さらに、各調査地区を名古屋市、その他の市と郡部（町村）の3つに分類し、それぞれを層とした。

イ 標本数の配分

各層に、その推定母集団数（平成23年10月1日現在の人口）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

ウ 抽出の方法

（ア） 第1次抽出単位となる調査地点として、平成22年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

（イ） 各層における調査地点については、1次調査地点の標本数が20となるように算出し、各層内の調査地点が1地点の場合は単純無作為抽出法により抽出、2地点以上となる場合は、「層における調査地区数の合計」÷「層で抽出された調査地点数」＝「抽出間隔」を算出し、等間隔抽出法により抽出した。

（ウ） 各調査地点における対象者の抽出は、選挙人名簿により等間隔抽出法で抽出した。

地域	地区番号	地区名称（市（区）、郡）
名古屋地域	1	名古屋市東部地区（千種区・東区・守山区・名東区）
	2	名古屋市南東部地区（昭和区・瑞穂区・緑区・天白区）
	3	名古屋市北西部地区（北区・西区・中村区・中区）
	4	名古屋市南西部地区（熱田区・中川区・港区・南区）
尾張地域	5	海津・津島・豊田地区（津島市・愛西市・弥富市・あま市・海部郡）
	6	一宮地区（一宮市・稻沢市）
	7	犬山・江南地区（犬山市・江南市・岩倉市・丹羽郡）
	8	春日井・小牧地区（春日井市・小牧市・清須市・北名古屋市・西春日井郡）
西三河地域	9	尾張・東部地区（瀬戸市・尾張旭市・豊明市・日進市・愛知郡（東郷・久半・名和））
	10	知多地区（半田市・常滑市・東海市・大府市・知多市・知多郡）
	11	豊田・加茂地区（豊田市・みよし市）
東三河地域	12	岡崎・額田地区（岡崎市・額田郡）
	13	衣浦・東部・幡豆地区（碧南市・刈谷市・安城市・西尾市・知立市・高浜市）
	14	東三河山間地区（新城市・北設楽郡）
西三河地域	15	蒲郡・豊川地区（豊川市・蒲郡市）
	16	豊橋地区（豊橋市・田原市）

調査地区別標本・調査地点数一覧

名古屋地域	名古屋市	名古屋市		計
		464,801	220	
	名古屋市東部地区	11		220
				11
	名古屋市南東部地区	488,545	240	488,545
		12		240
				12
	名古屋市北西部地区	448,758	220	448,758
		11		220
				11
	名古屋市南西部地区	473,981	220	473,981
		11		220
				11
尾張地域	海部津島地区	208,585	56,793	265,378
		100	40	140
		5	2	7
	一宮地区	414,361	220	414,361
		11		220
				11
	犬山江南地区	179,477	44,610	224,087
		100	40	140
		5	2	7
	春日井小牧地区	482,106	11,607	493,713
西三河地域		240	0	240
		12		12
	尾張東部地区	295,535	73,614	369,149
		160	40	200
		8	2	10
	知多地区	361,011	131,936	492,947
		180	100	280
		9	5	14
	豊田加茂地区	381,026		381,026
		180		180
東三河地域	9			9
	岡崎額田地区	297,196	30,112	327,308
		140	20	160
		7	1	8
	衣浦東部幡豆地区	536,104		536,104
		240		240
		12		12
	東三河山間地区	40,609	9,342	49,951
		20	0	20
		1	0	1
計	蒲郡豊川地区	211,931		211,931
		120		120
		6		6
	豊橋地区	353,575		353,575
		160		160
		8		8
	計	1,876,085	3,761,516	5,995,615
		900	1,860	3,000
		45	93	150

上段：推定母集団
中段：標本数
下段：調査地点数

5

6

調査地点一覧

尾張地域	名古屋市	地点名		対象数
		名古屋市	名古屋市	
	名古屋市	千種区	菊地町二丁目	20
		"	若水一丁目	20
		"	星ヶ丘二丁目	20
		"	黒門町	20
		"	白壁新一丁目	20
		"	川上町	20
		"	小篠三丁目	20
		"	川宮町	20
		"	名塚区	20
		"	鶴森二丁目	20
		"	猪子石二丁目	20
		"	諸善寺三丁目	20
	名古屋市	昭和区	須付第三丁目	20
		"	川名町四丁目	20
		"	瑞穂区	20
		"	白浪町一丁目	20
		"	井戸田二丁目	20
		"	緑区	20
		"	鳴海町	20
		"	六田一丁目	20
		"	高根台	20
		"	天保町	20
		"	豊山町一丁目	20
		"	中平二丁目	20
	名古屋市	北区	清水町一丁目	20
		"	鳴海町一丁目	20
		"	水切町一丁目	20
		"	天神山町	20
		"	又幡町二丁目	20
		"	中村区	20
		"	竹橋町	20
		"	八社二丁目	20
		"	森田二丁目	20
		"	宋三丁目	20
		"	千代田二丁目	20
	名古屋市	熱田区	白塙二丁目	20
		"	山内一丁目	20
		"	五女二丁目	20
		"	中島新町二丁目	20
		"	豊田町一丁目	20
		"	港區	20
		"	名塚一丁目	20
		"	野跡五丁目	20
		"	南区	20
		"	寺沢三丁目	20
		"	弥次郎三丁目	20
		"	戸畠町三丁目	20
尾張東部地区	春日井市	昭和区	尾原松町二丁目	20
		"	瑞穂町三丁目	20
		"	後木町六丁目	20
		"	香壽井上ノ町	20
		"	上ノ町一丁目	20
		"	通谷台三丁目	20
		"	小牧町	20
		"	元町二丁目	20
		"	大字西之盛	20
		"	光ヶ丘一丁目	20
知多地区	瀬沼市	北名古屋市	鳥居野	20
		"	二子	20
	瀬戸市	北名古屋市	北山町	20
		"	北山町一丁目	20
		"	上北山町三丁目	20
		"	瀬戸市	20
		"	西瀬戸町	20
		"	船形町	20
		"	豊明市	20
		"	新庄町	20
東三河地区	瀬戸市	東三河	東山二丁目	20
		"	赤坂三丁目	20
		"	愛知郡	20
		"	東郷町	20
		"	豊浜町	20
		"	東郷町大字久留柄	20
		"	東郷町大字久留柄	20
		"	半田市	20
		"	猿投町九丁目	20
		"	花園町六丁目	20
西三河地域	常滑市	常滑市	千代ヶ丘三丁目	20
		"	大田中一丁目	20
		"	東郷町	20
		"	豊島町	20
		"	大庭町	20
		"	北郷町一丁目	20
		"	同田	20
		"	梅力丘一丁目	20
		"	知多郡	20
		"	別久江町大字矢高	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	東浦町大字豊浜	20
		"	名和町	20
		"	伊良湖町	20
		"	佐久間町	20
		"	名和町	20
		"	豊田町	20
		"	田原市	20
		"	田原町	20
		"	豊橋市	20
		"	豊橋市	20
西三河地域	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20
衣浦東部地区	豊橋市	豊橋市	幸町一丁目	20
		"	大手町一丁目	20
		"	寛田町	20
		"	東郷町	20
		"	東郷町	20
		"	王ヶ崎町	20
		"	半田公民館	20
		"	多米中町二丁目	20
		"	織田町	20
		"	大崎町	20

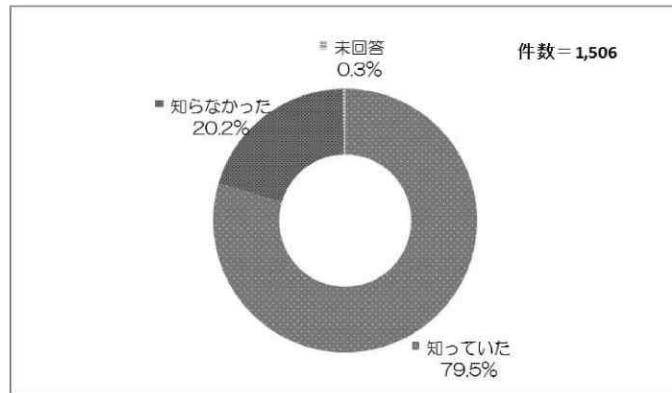
■ 調査結果

I 森と緑の働きについて

(1) 森や緑の公益的機能の認知度

森と緑に公益的機能があることについて「知っていた」と答えた人は 79.5%

問 I - 1 森と緑は、災害の防止など様々な公益的機能により、私たちの暮らしを支えてくれています。あなたは、このことについて知っていましたか。(○は 1 つ)



森と緑には公益的機能があり、災害防止など私達の暮らしを支えていることを「知っている」と答えた人の割合が 79.5% に対し、「知らなかった」と答えた人の割合は 20.2% となっている。

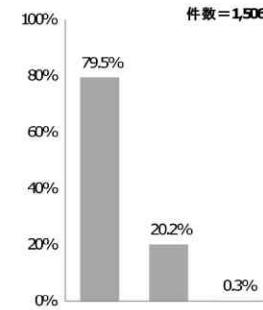
森や緑の公益的機能の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性 (79.0%) と女性 (79.5%) との差は少ない

◆年齢別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、20 歳～29 歳では 69.4% で、年齢層が上がることに割合が増える傾向にあり、65 歳以上は 85.5% となっている。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、名古屋地域 (81.9%) が高く、東三河地域 (76.4%) が低く、5.5 ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、自営業 (82.4%) が高く、勤め人 (78.5%) が低い。



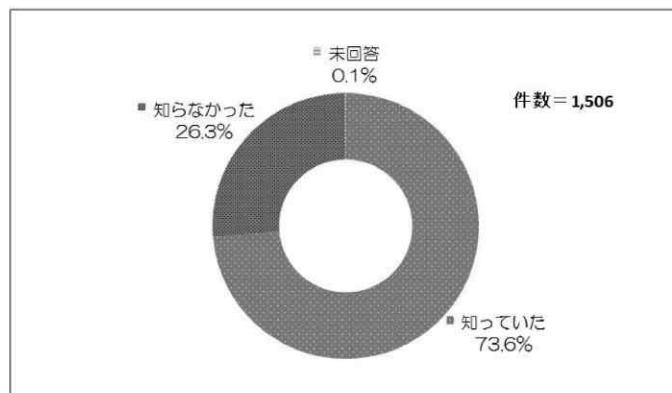
	知っていた	知らなかった	未回答
性別	79.0%	20.4%	0.6%
年齢別	69.4%	30.6%	0.0%
地域別	81.9%	17.6%	0.5%
職業別	82.4%	17.6%	0.0%

10

(2) 森や緑の公益的機能の変化に対する意識

森と緑の公益的機能が低下していくことについて「知っていた」と答えた人の割合は 73.6%

問 I - 2 近年、木材価格の低迷により、所有者による人工林の手入れが不足したり、都市の緑は開発などにより減少していくことについて、森と緑の持つ様々な公益的機能がどんどん低下してしまって心配されています。あなたは、このことを知っていましたか。(○は 1 つ)



木材価格の下落、あるいは都市の開発などが、森と緑の公益的機能の低下にまでつながっていることを「知っている」と答えた人の割合は 73.6% ある。一方で「知らなかった」と答えた人の割合は 26.3% である。

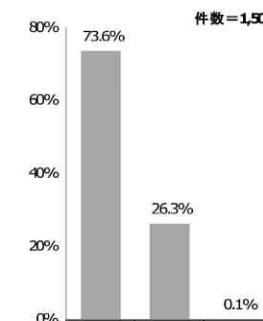
森や緑の公益的機能の変化に対する意識（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性 (76.3%) が高く、女性 (70.9%) が低く、5.4 ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、年齢層が上がることに「知っていた」と答えた人の割合が高くなり、20 代では「知らなかった」が 51.9% に対し、「知っていた」が 48.1% と少なく、回答が全体と比べて逆転している。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、尾張地域 (75.4%) が高く、東三河地域 (68.9%) が低く、6.5 ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知ていた」と答えた人の割合は、無職 (76.4%) が高く、勤め人 (70.5%) が低い。



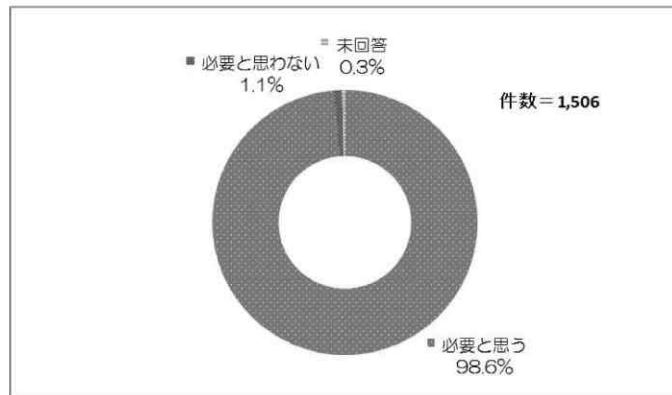
	知っていた	知らなかった	未回答
性別	76.3%	23.7%	0.0%
年齢別	48.1%	51.9%	0.0%
地域別	75.4%	24.6%	0.0%
職業別	76.4%	23.6%	0.0%

12

(3) 健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性

健全な森や緑を後世に引き継ぐことについて「必要と思う」が98.6%

問I-3 将来に向けて健全な森と緑を引き継いでいくことについて、必要だと思いますか。(○は1つ)



将来に向けて健全な森と緑を後世に引き継いでいくことについて「必要と思う」と答えた人の割合は98.6%と非常に高くなっている。一方で「必要と思わない」と答えた人の割合は1.1%とわずかである。

「必要と思わない」の理由としては、「所有者が行えばよい」、「自分の生活の方が大事」、「税金のムダ使いには反対」などがある。

性別	男性	98.6%	1.3%	0.1%
	女性	98.8%	0.8%	0.4%
年齢別	20歳～29歳	97.2%	0.9%	1.9%
	30歳～39歳	98.5%	1.0%	0.5%
	40歳～49歳	98.8%	1.2%	0.0%
	50歳～59歳	99.3%	0.7%	0.0%
	60歳～64歳	98.6%	1.4%	0.0%
	65歳以上	98.8%	1.0%	0.2%
地城別	名古屋地域	98.8%	1.2%	0.0%
	尾張地域	98.7%	1.0%	0.3%
	西三河地域	99.4%	0.3%	0.3%
	東三河地域	97.5%	1.9%	0.6%
職業別	自営業	99.5%	0.5%	0.0%
	勤め人	98.5%	1.2%	0.3%
	無職	98.7%	1.0%	0.3%

13

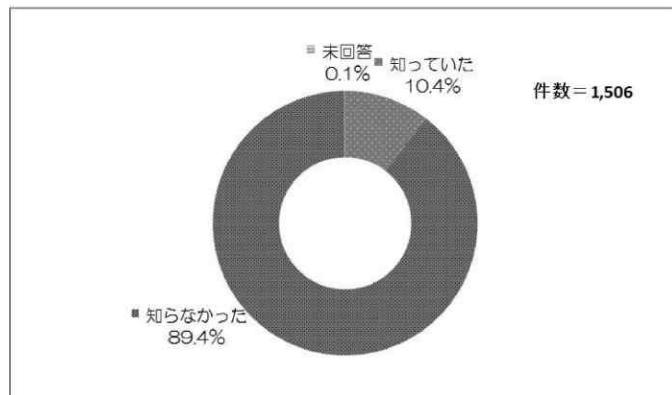
14

Ⅱ 「あいち森と緑づくり税」について

(1) 「あいち森と緑づくり税」の認知度

「あいち森と縁づくり税」について「知らなかった」が89.4%

問II-1 このアンケート調査の前に「あいち森と縁づくり税」のことを知っていましたか。(○は1つ)



「あいち森と縁づくり税」のことを「知っていた」と答えた人は10.4%と低く、「知らなかった」と答えた人は89.4%と高くなっている。

※あいち森と縁づくり税とは、森や緑が持つ環境保全や災害防止などの様々な働きを高めるため、平成21年度から県民税均等割の額に一定額を上乗せして、御負担いただいているものです（個人年額500円加算、法人5%加算（年額1,000円～40,000円加算）。

性別	男性	11.7%	88.3%	0.0%
	女性	9.4%	90.5%	0.1%
年齢別	20歳～29歳	2.8%	97.2%	0.0%
	30歳～39歳	7.7%	91.8%	0.5%
	40歳～49歳	9.4%	90.6%	0.0%
	50歳～59歳	7.6%	92.4%	0.0%
	60歳～64歳	10.8%	89.2%	0.0%
	65歳以上	16.3%	83.7%	0.0%
地域別	名古屋地域	9.7%	90.3%	0.0%
	尾張地域	10.4%	89.4%	0.2%
	西三河地域	11.9%	88.1%	0.0%
	東三河地域	10.6%	89.4%	0.0%
職業別	自営業	9.9%	90.1%	0.0%
	勤め人	9.2%	90.7%	0.1%
	無職	12.2%	87.8%	0.0%

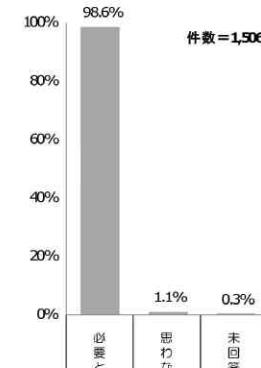
健全な森や緑を後世に引き継ぐことの必要性（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、男性（98.6%）、女性（98.8%）で0.2ポイントと差はない。

◆年齢別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、何れの年齢層も高く、年齢層での差は小さい。

◆地域別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、西三河地域(99.4%)が高く、東三河地域(97.5%)が低く、1.9ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「必要と思う」と答えた人の割合は、自営業(99.5%)が高く、勤め人(98.5%)が低い。



性別	男性	98.6%	1.3%	0.1%
	女性	98.8%	0.8%	0.4%
年齢別	20歳～29歳	97.2%	0.9%	1.9%
	30歳～39歳	98.5%	1.0%	0.5%
	40歳～49歳	98.8%	1.2%	0.0%
	50歳～59歳	99.3%	0.7%	0.0%
	60歳～64歳	98.6%	1.4%	0.0%
	65歳以上	98.8%	1.0%	0.2%
地城別	名古屋地域	98.8%	1.2%	0.0%
	尾張地域	98.7%	1.0%	0.3%
	西三河地域	99.4%	0.3%	0.3%
	東三河地域	97.5%	1.9%	0.6%
職業別	自営業	99.5%	0.5%	0.0%
	勤め人	98.5%	1.2%	0.3%
	無職	98.7%	1.0%	0.3%

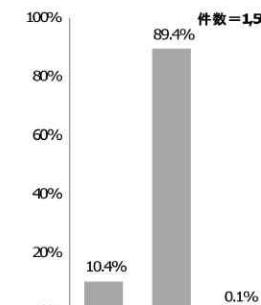
「あいち森と緑づくり税」の認知度（性別、年齢別、地域別、職業別）

◆性別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、男性（11.7%）女性（9.4%）と2.3ポイントの差がある。

◆年齢別で見ると、年齢層が上がることに「知っていた」と答えた人の割合が高くなり、65歳以上(16.3%)、次に60歳~64歳(10.8%)が高くなっている。

◆地域別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、西三河地域(11.9%)が高く、名古屋地域(9.7%)が低く、2.2ポイントの差がある。

◆職業別で見ると、「知っていた」と答えた人の割合は、無職（12.2%）が高く、勤め人（9.2%）が低い。



- 資料-2-4 -